

カーテンコール

なつぎ

宇都宮東高等学校
《編集長》
みんなを引っばって
けた気がします！



たくひと

さくら清修高等学校
《副編集長》
情報誌作製、おつか
れさまでした。



撫子

宇都宮東高等学校
《副編集長》
二年目です！新しい人とも
出会えてよかったです。



月織

宇都宮中央女子高等学校
《副編集長》
初めてでしたが、とても
楽しく作れました。



みど

宇都宮中央女子高等学校
《書記》
仲間と大好きな本につ
いて語りあうことができて、
とてもたのしかったです。



ぽん

宇都宮白楊高等学校
《書記》
去年に引き続き楽し
たいです。



みかんぽんかん いよかん

宇都宮女子高等学校
《書記》
他校のみなさんと交流
するよい機会でしたー！



はしこ

宇都宮短期大学附属高等学校
《書記》
おすすめの本を何にし
ようかと迷いました。



壱

宇都宮海星女子学院高等学校
《イラスト》
似顔絵書くのが少し大
変でした。



S極

宇都宮女子高等学校
《イラスト》
大変でしたが、楽し
かったです。



しろくま

宇都宮南高等学校
《イラスト》
サーカスの世界観を出
すことが楽しかったです。



夜猫

宇都宮南高等学校
《とりまとめ》
なかなか本好きの人
との交流がなかった
ので、楽しかったです。



syori

宇都宮中央女子高等学校
《イラスト》
構成を考えていくのは、
楽しかったです。



本野朶

宇都宮南高等学校
《とりまとめ》
初めてで緊張しましたが、
とても楽しくできました。



60°

国際基督教大学高等学校
《とりまとめ》
本が好きな人にも、そ
うでない人にも楽し
てもらえたらと思います。



MIYATEEN VII

MIYATEEN'S CARNIVAL

~ WELCOME TO THE Our FESTIVAL ~



編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.8でも高校生編集委員を募集します。本好きの高校生の皆さん、
ぜひご参加ください！詳しくは中央図書館まで。

・ペンネーム
・学校
・役割(担当)
・感想

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生のための情報誌
Vol.7

MIYATEEN

発行 平成28年2月 編集 MIYATEEN編集委員
ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

Biblio Map

様々なアトラクションで遊ぼう!

「ソードアート・オンライン」1 (文庫) (電撃文庫)

川原礫/著 abec/イラスト
KADOKAWA アスキー・メディアワークス

五感すべてでゲームの世界に入り込めるVRゲーム、ソードアート・オンライン。しかし、それはゲーム内でのキャラクターの死が実際の人間の死につながるデスゲームだった!

「カスタム・チャイルド-罪と罰-」(文庫) (メディアワークス文庫)

壁井ユカコ/著 KADOKAWA アスキー・メディアワークス

遺伝子操作によって子どもの容姿が「デザイン」できるようになった世界。遺伝子工学の発展によって歪みの生じた世界で生きる、三人の少年少女の物語。



「鍵の秘密」

古市卓也/著 福音館書店

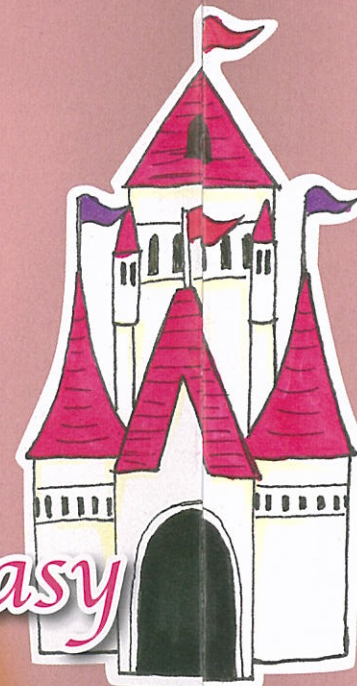
児童書なのですが、かなり分厚くて読みごたえがあります。かなりおもしろくてどんどん読んでしまいました。高校生でもかなり楽しんで読めると思います。



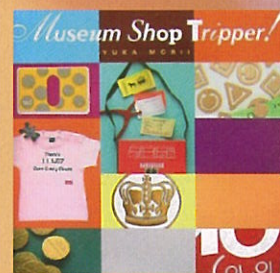
「フェアリーレム」①

エミリー・ロッダ/著
岡田好恵/訳 童心社

この優しく温かい物語は心をいやしてくれるような気がします。読みやすいので、ぜひ読んでいやされて!



Fantasy



「ミュージアムショップトリッパー!」

森井ユカ/著 青山出版社
※品切れ・重版未定

ヨーロッパのミュージアムショップをまとめた本。普段ミュージアムショップをのぞかない人でも行きたくなってしまいそう! 過去の歴史とつながれるミュージアムカーニバルだ!

SF



「9S(ナインエス)」(文庫) (電撃文庫)

葉山透/著 増田メグミ/イラスト
KADOKAWA アスキー・メディアワークス

マッドサイエンティスト・峰島勇次郎の生み出した数々のオーバーテクノロジーによって急激に発展した世界。それぞれの運命を背負って生きる、少年と少女の物語。

実用書



「海と森の標本図」

結城伸子/著
グラフィック社

一見だらかな海辺でも、一見大きな森の中でも。目を向ければ小さな小さなお祭りが足元で……。現実に戻ってきても覚えていられるように、小さな箱に切り取って。

「世界の祝祭日とお菓子」

プチグラブプリッシング

世界各地で盛大に行われる祝祭日のパーティー。必需品はやっぱりお菓子! 食べれば聞こえてくる異国の喧騒に、胸は高鳴る!



GOTH

「GOTH リストカット事件」

乙一/著 角川書店

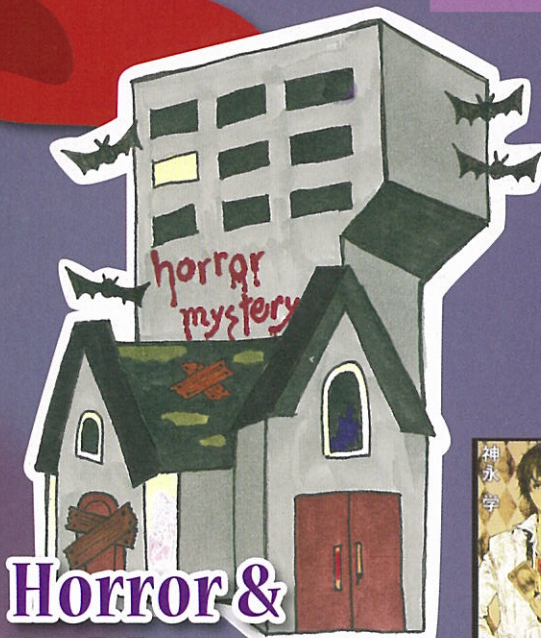
猟奇的な事件に興味を持ち、人間の残酷な面ばかり覗きたがる「僕」と森野。二人は自らの興味のために事件を追う。



「悪の教典」上・下

貴志祐介/著
文藝春秋

校内一の人気教師・蓮実聖司の裏の顔は、理想のためなら手段を選ばない殺人鬼だった。映画化、コミカライズもされたサイコホラーの傑作。



Horror & Mystery



「心霊探偵八雲 1」(文庫) (角川文庫)

神永学/著 角川書店

心霊の類が見えてしまう、赤い瞳を持つ青年・八雲が事件を解決していく人気シリーズ。



「レッドデータガール はじめてのお使い」(文庫) (角川文庫)

荻原規子/著 角川書店

普通でありたい泉水子の成長姿がすごいおもしろい! 設定はファンタジーであまりリアリティがないかな? って思っていたけれど、読み進めるうちに共感できるところもある。また、深行と泉水子の関係もドキドキします。



「妖精作戦」(文庫) (創元SF文庫)

笹本祐一/著 東京創元社

超能力を操る美少女、小牧ノブと出会った神は、彼女を守るため、超国家組織と戦うことを決意する。彼とその仲間たちが繰り広げるハチャメチャなアクション劇から、目が離せません!



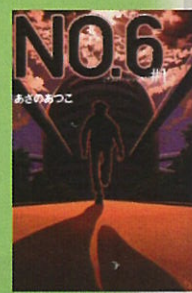
「図書館戦争」

有川浩/著 徒花スクモ/イラスト
KADOKAWA アスキー・メディアワークス

なんといってもかっこいい! 鳥肌が立ちます! 熱血バカの郁の成長と、その真っ直ぐな志が胸に響きます。手に汗握るアクションシーンや、胸が熱くなるシーン、暖かいラブもたっぷりです!



Action



「NO.6」

あさのあつこ/著
講談社

全九巻の近未来SF小説。アニメ化もされました。アクションシーンが凄いい! 友情も凄いい! 読めば引き込まれること間違いなしです!

演目紹介



『重力ピエロ』

伊坂幸太郎/著 新潮社刊

とある家族の兄弟のお話。キーワードは、DNA(遺伝子)、連続放火事件、そしてジョーダンバッド。放火現場に残されたグラフィティアート。その謎を父親と弟と一緒に兄が解いていく。浮かび上がってきた家族に起こった過去の事件、弟の精神状態を疑うJLGの美人、探偵の黒澤、裏稼業の葛城。ついに突き止めた共通点と犯人、その結末は…。



『空中ブランコ』

奥田英朗/著 文藝春秋

ジャンプが成功できなくなってしまった空中ブランコのフ라이ヤーの公平が、奇想天外な行動を起こす精神科医に振り回されていく。公平は、再び飛べるようになるのか。温かみのある笑える話。



『おおかみこどもの雨と雪』 (文庫)

細田守/著 角川書店

大学生の花は「おおかみおとこ」に恋をし、新しい命を授かる。授かった子どもは「おおかみこども」だった。人間とおおかみの狭間で成長していく雨と雪。2人はどんな道を選ぶのか。

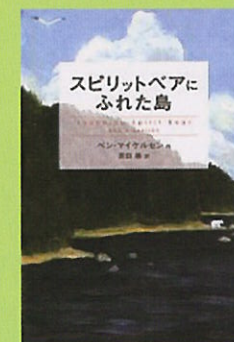


猛獣使い

『スピリットベアにふれた島』

ベン・マイケルセン/著 鈴木出版

舞台はアメリカ。15歳の少年コール・マシューズは、金銭的に不自由な生活を送っているが、両親との関係が悪く、たびたび警察沙汰を起こしている。ある日、同級生のピーターに重傷を負わせてしまい、コールは無人島に1年間追放されてしまう。生を生きる大切さを痛感する本である。



蛇男

『白蛇島』

三浦しをん/著 角川書店

「白蛇様」を信仰する、人の出入りを喜ばないような島「拝島」。持念兄弟とよばれる義兄弟である二人の主人公が、この島で経験する不思議な冒険物語は、読む者を引きつけます。大切な人を想いなくなる一冊。



ジャグラー

『阪急電車』

有川浩/著 幻冬舎

一乗客たちがどんな物語を抱えているか—それは乗客たち、それぞれしか知らない。人数分の物語を乗せて電車は、線路を走っていく—連作短編なので「本が苦手…」な人にも読みやすいと思います。



蛇女

『恋物語』

西尾維新/著 講談社

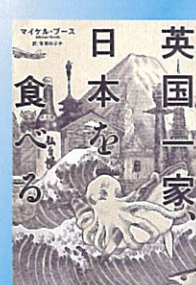
本作にはクチナワの怪異と同化して蛇神となってしまった少女、千石撫子が登場します。撫子はある男を殺そうとしますが、その男の彼女「ひたぎ」はある詐欺師に助けを求めました。その詐欺師、貝木泥舟と撫子の交流は必見です。



OUR RECOMMENDED

「英国一家、日本を食べる」

イギリスから来た家族4人が、本場の和食から下町の焼きそばまで、とにかく日本を食べつくす!



感想 和食は世界から見ると、どう見えるのか、日本が創り上げた食文化はどんなものか、読んだら間違いなくお腹が空く!! (ぼん)

マイケル・ブース/著 寺西のぶ子/訳 亜紀書房

「京都寺町三条のホームズ」(文庫)

京都の寺町三条商店街にボツリとたたずむ骨董品店、『蔵』。女子高生の葵は、ひょんなことから『蔵』の店主の息子、家頭清貴と知り合い、アルバイトを始めることになる。骨董品にまつわる様々な依頼をうけるが…、京都が舞台の、ライトミステリー!



感想 京都と、骨董品と、あまらずばくって、あたたかいストーリー! それぞれの骨董品にまつわる様々な事件と物語。読みやすい文体の本格ライトミステリー。はまることまちがいないです! (みど)

望月麻衣/著 双葉社

「サクリファイス」(文庫)

陸上をやめた白石智は、自転車ロードレースの選手としてプロで活躍していた。ある時、チームのヨーロッパ遠征にて悲劇が起こる。レース中のエースの死に皆が悲しみに暮れる中、白石はある真相にたどり着く。



感想 自転車ロードレースの臨場感とミステリー小説がまさに奇跡の融合を遂げました。ロードレースをまったく知らなくても、すぐに物語に引き込まれます。これを読んで是非、自転車に興味を持ってください。 (S極)

近藤史恵/著 新潮社文庫刊

「明日の子供たち」

児童養護施設に勤め始めた三田村慎平。よかれと思ってやったことも、先輩職員・和泉和恵に怒られるばかり。そんななかで、三田村は子供たちと心を通わせようと奮闘するが…。



有川浩/著 幻冬舎

感想 この本の中で、てくてく児童養護施設で過ごす子供たちは、悩みを抱えながらも、1人1人が前に進み続けています。読み終わった時に、爽やかな気持ちになれる本です。 (本野 榮)

「キケン」(文庫)

某県某市、城南工科大学。この城南大に「機械制御研究部」という部活があった。略称『機研(キケン)』。そして通称『キケン(危険)』。そのキケンの黄金期、部を率いるのは、ユナ・ボマーと大魔神! 彼の熱い青春の物語。



有川浩/著 新潮社文庫刊

感想 これぞまさに青春! 私は感じました。どこまでも熱く、そしてバカであるキケンのメンバー達、自分もこんな青春や仲間には憧れました。 (夜猫)

「クビキリサイクル 青色サヴァンと戯言遣い」(文庫)

青き天才、玖波友と付きそい「僕」は、島の主人である赤神イリアによって島の瀧羽島に招待される。「僕」は、同じく招かれていた天才に囲まれた3日間に居心地の悪さを感じていた。しかし、次の日に起きた事件によって、その3日間は平穏だったのだと思わされる。流れたペンキの向こう側、そこにあったのは、首無し死体…。



西尾維新/著 講談社

感想 私は元タミステリーものがあまり好きではありませんでした。しかしこの本は謎とかがメインだと忘れられるほどに登場人物同士の関係や心情が濃く書かれており、始終飽きずに読むことができました。この巻以降、物語がどんどん加速していくので、ぜひシリーズ全部、読んでみてください。 (Syori)

「屍者の帝国」

屍者復活の技術が全欧に普及した十九世紀末、医学生ワトソンは大英帝国の諜報員となり、アフガニスタンに潜入。その奥地で彼を待ち受けていた屍者の国の王カラマーズより渾身の依頼を受け、「ヴィクターの手記」と最初の屍者ザワンを追い求め世界を駆ける。



伊藤計劃・円城塔/著 河出書房新社

感想 自分の死が近づいているというときに「屍者を利用して回っている世界」を思いつく伊藤計劃さんには、びっくりしましたが、この世界があり得たかもしれないと考えると、少し背筋が寒くなりました。 (なつぎ)

「使命と魂のリミット」(文庫)

「人間というものは、その人にしか果たせない使命」というものを持っているものなんだ。氷室夕紀の父が手術で帰らぬ人となったのは、執刀医・西園の意図的なものだったのか。様々な「使命」が交錯する1冊。



東野圭吾/著 角川書店

感想 作中に何度も登場する「使命」。自分の「使命」はまだわからないが、いつかきちんと「使命」を果たしたい。(みかんぽんかんいよかん)

「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」(文庫)

美大生の南山高寿は電車で見かけた福寿愛美に告白し、付き合うことに。しかし愛美には重大なヒミツがあつて…



七月隆文/著 宝島社

感想 最初はベタな恋愛小説かな? と思っていたら、愛美のヒミツにびっくりさせられました。ジャケットもかわいくて、とてもよみやすかったです。 (はしこ)

「百瀬、こっちを向いて。」

人間レベル2、クラスでも冴えない主人公の相原。ある日、命の恩人でもある人気者の宮崎先輩から、「百瀬」と付き合っているフリをしてほしいとたのまれて…「こんな苦しい気持ちは、最初から知らなきゃよかった…」百瀬、こっちを向いて……。ソーダ水のようなほろ苦くみずみずしい恋愛小説。



中田永一/著 祥伝社

感想 この小説は、ただの恋愛小説とは、ちがいます! 恋の切なさをぞんぶんに、かきあつめた小説ばかり。恋は甘いだけじゃない。恋愛小説が苦手な人にもおすすめ! わたしのお気に入り! 小梅が通る! (撫子)

「路地裏のあやかしたち」(文庫) (メディアワークス文庫)

高校生の小幡光之介は、父親の絵が動き出す怪現象に悩まされていた。それを解決してくれる、とある怪しい日本家屋へ入った光之介は、加納環と名乗る、若く美しい女表具師と出会う。人間と妖怪が織りなす不思議な青春物語。



行田尚希/著 KADOKAWA アスキー・メディアワークス

感想 掛け軸や屏風などの表具を仕立てる表具師の「裏」の仕事の世界観に引き込まれます。また、個性豊かな妖怪たちとの絆が深まっていくところが面白いです。 (しろくま)

「浜村渚の計算ノート」(文庫)

「数学の地位向上のため国民全員を人質とする」。数学テロ組織『黒い三角定規』によるテロに対抗するため、警視庁黒い三角定規特別対策本部は、数学に長けた人材を見つけ出した。しかし彼女は中学生の少女で…。



青柳碧人/著 講談社

感想 ミステリー小説なのですが、登場人物たちの性格や掛け合いなど、とても面白く読み易い話です。数学が苦手な人も嫌いな人も、きっと数学が好きになります! (月織)

「ぼくらが旅に出る理由」

中学二年の夏のお話。コウは買い物の途中、勢いで船に飛び乗り、船内で酒を飲み、けろを吐いた。そのときに強気な少女リンに出会う。島についたが、何の用意も金も無いコウは、三人の美人な姉のいるリンの家に泊まることになった。次第に分かってくる姉妹の秘密、リンの同級生たち、遠くさい福山雅治、リンの過去、そしてコウの持病。過去にとらわれた姉妹とリンのためにコウは…。



山下卓/著 エンターブレイン

感想 きれいなお姉さんや同じ趣味を持つ同い年の女の子の住んでいる家に夏休み宿泊できるなんて羨ましい! そんな作品でした。読んでいて、孤島のきれいな自然や、景色が鮮明に思い浮かびました。 (たくひと)

「モンスター」(文庫)

田舎町でしゃれているレストランを経営する絶世の美女・未帆。彼女の顔は、かつて畸形的なまでに醜かった。彼女は整形手術に目覚め、莫大な金額と引きかえに完璧な美女に変身する。その時、彼女にあったのは、ひとりの男への狂おしい愛情だった…



百田尚樹/著 幻冬舎

感想 作られ美女が愛を得られるのかというテーマで、とても興味深かったです。現実にはありそうなので、読んでいてとても複雑な気持ちになりました。 (杏)

「理由あって冬に出る」(文庫) (創元推理文庫)

某市立高校の芸術棟には、フルートを吹く幽霊が出るらしい。平凡な美術部員である主人公は、ひょんなことから、その噂を検証するために夜の芸術棟へ。しかし、予想に反して幽霊は実際に現れた! 主人公達がたどりついた、幽霊騒動の意外な真相とは? コミカルな学園ミステリーです。



似鳥鶏/著 東京創元社

感想 テンボの良い会話、個性的なキャラクターたち、ふとしたシーンで見える彼らの等身大の高校生らしさが魅力です! 楽しく読み進められて、最後の真相にはあっと驚くこと間違いなし。著者の個性がにじみ出る、ユーモアにあふれたあとがきも必読です。 (60')